

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	農業用施設単独災害復旧事業			
予算科目	11 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 農業の振興			
所管課情報	担当課:	農林水産課	電話番号(内線):	583
記入者情報	所属長:	亀岡 泰三	担当責任者:	角田 栄治
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	農業者等(受益者)			
根拠法令等				
事業の目的	補助災害で採択できない小規模な被災箇所の復旧を行い、農業用施設の機能回復を図る。			
事業の内容	農道、水路、ため池、頭首工の機能回復工事を実施する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	3,696	6,464	5,535	6,086
	人件費	2,440	2,386	1,193	2,386
	合計	0	8,850	6,728	8,472
人件費 内訳	人工数	0.30	0.30	0.15	0.30
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,440	2,386	1,193	2,386
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	1,300	0	0	0
	その他	369	646	553	608
	一般財源	4,467	8,204	6,175	7,864

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
災害復旧工事費	千円	3696	6464	5535	6086

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	実施事業量÷被災事業量×100			
指標設定の考え方	被災事業量に対する実施事業量の割合を上げることで、機能回復を図ることになる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100%	100%	0	0
実績	35.9%	95.4%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	農村の景観保全及び農業の生産性を維持する重要な事業であるが、農業者の高齢化及び後継者不足により、復旧工事を断念する事例が発生してきた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	補助災害で採択できない小規模災害を復旧するための事業であり、農業者等の受益者からの早期復旧の要望により復旧工事を実施しており、今後においても引き続き事業を展開する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題